あとがき

1999年度表現論シンポジウムは、房総半島の休暇村館山に於いて11月15日から18日にかけて行なわれました。今回のシンポジウムは、古津博俊氏が会場を私(松本)がプログラムをそれぞれ担当しました。

シンポジウム開催にかかる費用のうち旅費の一部、会場費、講演集は、以下より援助を受けました。

- ・ 「実解析と関数解析の総合的研究」(宮地晶彦代表) 基盤研究(A)(1) 課題番号 11304009
- ・ 「跡公式に視点をおいた双対性」若山正人 基盤研究(B)(2) 課題番号 11440010
- ・ 「簡約群の幾何学的表現論」落合啓之 基盤研究(B)(2) 課題番号 11440011

科学研究費の扱いならびに報告集の製本については若山正人氏に全面的にお世話になりました。

今回は概説講演を企画しましたが、柏原正樹、小林俊行、今野拓也の各氏が講演を快くお引受け下さいました。

田川裕之氏には、申し込みフォームのプログラムについていろいろと助けて頂きました。

上記の各氏並びに、機材の運搬を始めシンポジウムの運営を手伝って頂いた方々などお世話になった方々にこの場を借りて感謝の意を捧げたいと思います。

1999年度表現論シンポジウムプログラム担当 松本久義